

株式会社マシス 食品医薬品安全評価分析センター

はじめに

株式会社マシス食品医薬品安全評価分析センターは、食品や医薬品を化学的根拠に基づき評価・分析する専門機関です。最新の分析技術と超精密な分析装置、そして長年培ってきた経験とISOに準拠した厳密な管理システムのもとで高度な分析を行っており、食品の成分分析、農薬や添加物の残留検査、医薬品の有効成分や不純物の分析ほか、土壌、飲料水、飼料などの検査分析を行っています。

物価の高騰・不安定・商品の品薄状態が続いていますが、お客様に寄り添った事業展開をしています。残留農薬・食品検査のご依頼は、直接お申し込みください。価格・納期等各種提案させていただきます。

企業理念

信頼性と透明性を重視し、最高品質の分析サービスを提供することで社会に貢献します。

サービスの特徴

No1. 最新の技術：

最新の分析技術を駆使して高精度な検査・分析を実施します。

No2. 高い信頼性：

ISO/IEC 17025:2017 に準拠した品質管理システムにより常に信頼性の高い結果を提供します。

No3. 迅速な対応：

早急の依頼にも迅速に対応し、結果を速やかに報告します。

No4. 幅広い検査項目：

多様な検査・分析項目をカバーし、食品・医薬品・環境・動植物試料まで広範囲な分析ニーズに対応します。

No5. 専門的な知識：

長年の経験と専門知識を持つスタッフが、高度な技術を駆使して検査・分析を行います。

просимо i mirëpritur ຄູ້າຄຸ້າ ດອບຣ໌ ດອຟລີ Καλώς ήρθες Vítejte Қош келдіңіз አንኳን በኋላ ማጥ
u vitajte
yy خوش آمدید Dobrodošli ברוכים הבאים Tere tulemast gratissimum fogadtatás bun venit Wellkomm
odošli Tавтай морилно уу karşılama ยินดีต้อนรับ welkom Selamat datang желанный Xush kelibsiz
iz Bienvenue Fåilte トラヒヒ トラヒヒ
ng Welkommen Witamy 欢迎 Willkommen Bem vindo Nau mai tervetuloa Bienvenue
ni Welkom Velkomin Croeso Benvenuto マシスへようこそ Welcome 오신 것을 환영합니다 fogadtatás স্বাগত



社会貢献

分析は、人命を救う手段の一つという信念から国境なき医師団へ日本支部を通じて毎月寄付を行っています。

サービスの内容

食品（農薬検査）

輸入食品モニタリング（IFM）

概要：輸入食品に対する残留農薬モニタリング検査。

対象：輸入される生鮮食品や加工食品。

特徴：検疫所が行う検査と同じ農薬を検査。

輸出食品モニタリング（EFM）

概要：輸出食品に対する残留農薬モニタリング検査。

対象：輸出处の生鮮食品。

特徴：輸出国の規制に準拠した検査。

生鮮食品別（FOODS）

概要：生鮮食品ごとに設定された残留農薬基準に基づく検査。

対象：りんご、キャベツ、白菜、お茶などすべての生鮮食品。

特徴：各生鮮食品に特化した詳細な検査。

生鮮食品ごと専用（OP）

概要：コストパフォーマンスに優れた生鮮食品ごと限定の専用残留農薬検査。

対象：すべての生鮮食品。

特徴：各生鮮食品に特化した検査。



ハイコストパフォーマンス (FPp)

概要：コストパフォーマンスに優れた基本残留農薬検査。

対象：野菜、果物、穀物、加工食品、肉、魚、甲殻類など全て。

特徴：幅広い食品に対応し、迅速な結果を提供。

基準値定量限界 (B)

概要：基準値の定量限界に基づいた精密な検査。

対象：すべての生鮮食品。

特徴：流通適合性の評価に最適。

飲料水・ミネラルウォーター (CW/MW)

概要：飲料水およびミネラルウォーターの残留農薬検査。

対象：飲料水、ミネラルウォーター。

特徴：水質管理目標設定・基準値に基づいた検査。

食品（動物用医薬品検査）

輸入食品モニタリング (VD)

概要：輸入食品に対する残留動物用医薬品モニタリング検査。

対象：輸入される畜水産食品や加工食品。

特徴：検疫所が行う検査と同じ動物用医薬品を検査。

ハイコストパフォーマンス (FPv)

概要：コストパフォーマンスに優れた基本動物用医薬品検査。

対象：野菜、果物、穀物、加工食品、肉、魚、甲殻類など全て。

特徴：幅広い食品に対応し、迅速な結果を提供。



食品以外（各種検査）

土壌・汚泥・河川水 (Soil)

概要：土壌、汚泥、河川水の残留農薬検査。

対象：農地や環境試料。

特徴：環境保護を目的とした詳細な検査。

ペットフード (Pet FOOD)

概要：ペットフードの残留農薬検査他。

対象：ペット用食品。

特徴：愛がん動物用飼料の成分規格に基づく詳細な検査。

飼料 (Feed)

概要：家畜や家禽の飼料に対する残留農薬検査他。

対象：家畜飼料。

特徴：飼料の安全性を確保するための検査。



成分分析

栄養成分・他：

基礎栄養成分、食品添加物、食物繊維、脂質、金属、イオン、アミノ酸、ビタミン、核酸、有機酸、脂肪酸、アルコール、染料・色素、細菌

機能性成分・他：

ポリフェノール、呈味、香料、香気、糖（単糖・多糖）

薬物・生薬：

アンチエイジング、生薬、分子標的（抗がん剤）、高血圧、糖尿、肥満、その他の薬、薬の代謝物、ドーピング（食品）

毒・有害物質：

毒素（Toxin）、ステロイド、ホルモン、界面活性剤（洗剤）、有害物質

環境関連

環境（土壌・汚泥・河川水）、肥料、放射能

各種分析機器での測定

分析機器測定

概要：ISO・GMPなど対応した分析が可能。

対象：研究開発・品質管理など。

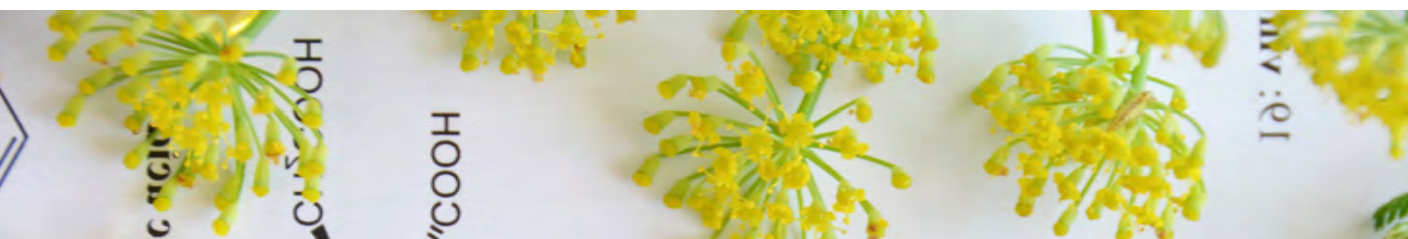
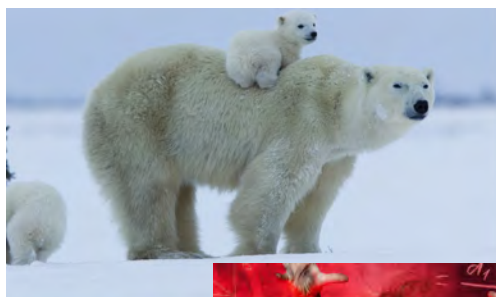
特徴：各種分析機器で測定が可能。

分析方法の開発

概要：特定の目的や要件に応じて、新しい分析方法を開発。

対象：食品・医薬品・環境試料・工業製品など全般。

特徴：最新の技術と知識を駆使して、より効率的かつ正確な分析方法を構築します。また、共同研究も可能。



ご案内

会社概要

株式会社マシス 食品医薬品安全評価分析センターは、HPLC用充填材の開発を行い自社のHPLC用カラムを使用して各種検査・分析を実施する「ハードとソフトを兼ね備える」開発研究型の分析専門会社です。

会社名：株式会社 マシス

英文名：MASIS Inc.

所在地：〒036-8104 青森県弘前市大字扇町二丁目2番地7

Tel.0172-29-1777 Fax.0172-29-1776 mail: info@masis.jp

資本金：1,000万円

設立：平成7年12月26日(1995/12/26)

代表取締役：相馬 学

社員数：25名（2024/01）

事業内容：受託分析業務（食品・土壌・その他）研究・開発支援

計量証明事業(青森県 第73号 濃度)

最大受託可能件数：約30,000件/年

取引先：国内海外の企業・大学・研究所ほか 組織・個人

事業登録：ISO/IEC 17025:2017 認定試験所（認定番号No.74760）

計量証明事業(青森県 第73号 濃度)

向精神薬試験研究施設設置者登録（青森県第15号）

特定毒物研究者許可登録（青森県第33号）

毒物劇物一般販売業登録（青森県第1-37号）

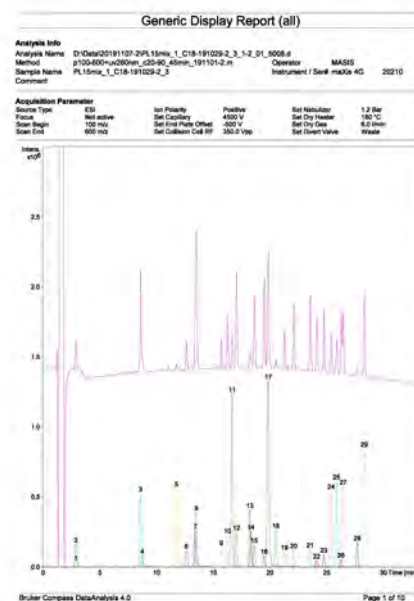
日本GAP協会推奨機関（残留農薬）

所属学会/協会：日本分析化学会 日本食品衛生学会 日本血液学会 日本健康・栄養食品協会

日本GAP協会

掲載論文：（抜粋）：Nature Chemical Biology 他

特許取得数：4



主要機器

HPLC-TOF-MS : (TOFは、1台その他 HPLC , GC , CE 各1台)

Shimadzu Nexera + BRUKER maXis 4G (1台)

GC-TOF-MS BRUKER 450GC + BRUKER maXis 4G (1台)

CE-TOF-MS BECKMAN COULTER P/ACE + BRUKER maXis 4G (1台)

HPLC-MS/MS : 7台

Waters ACQUITY UPLC + Xevo TQ-S micro System (1台)

Shimadzu Prominence + AB SCIEX 4000 (1台)

Shimadzu Prominence + AB SCIEX 4000 QTRAP (1台)

Shimadzu Prominence + AB SCIEX 3200 QTRAP (1台)

Shimadzu Nexera + Shimadzu LC-MS8030 (2台)

Shimadzu Prominence + FINNIGAN TSQ QUANTUM

Discovery MAX (1台)

GC-MS/MS : 7台

Thermo TSQ QUANTUM XLS ULTRA (5台)

Thermo TSQ QUANTUM XLS (1台)

VARIAN 1200L QUADRUPOLE (1台)

GC-MS : 1台

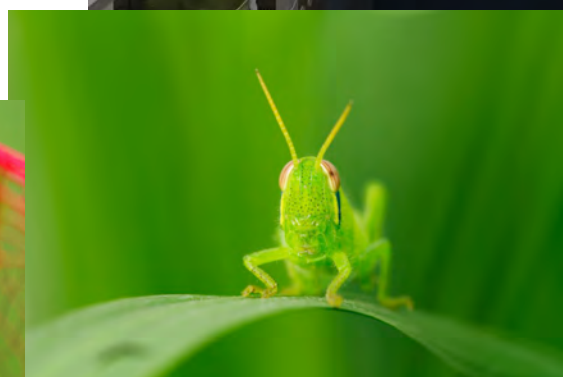
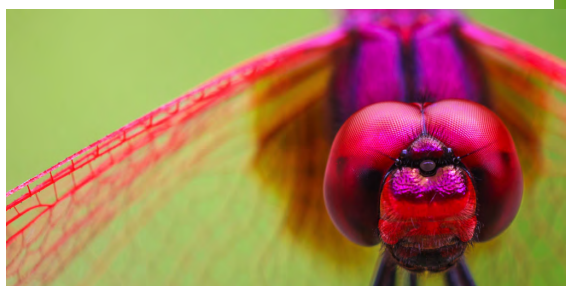
Shimadzu 2010 (1台)

HPLC : 10台

Shimadzu Prominenc・Jasco 2000・Jasco 1500など

GC : Shimadzu 2010Plus (GC-FID) (1台)

VARIAN 1200L (GC-FL(S)) (1台)



FT-IR : Jasco FT/IR 6500 (1台)

UV/VIS : JascoV-670・Shimadzu1800 (1台) Shimadzu Biospec Nano (1台)

FP : FP-6500 (1台)

AAS : AA-6800 (1台)

マイクロチップ電気泳動装置 : Shimadzu Multina (1台)

放射能測定装置 : Perkin Elmer 2480 WIZARD2 (1台)

総ガンマ線量測定装置 : BERTHOLD LB200 (1台)

会社沿革

2024_04 : 2024年度検疫所輸入食品モニタリング検査の受託開始

2023_08 : 輸出食品検査の受託開始

2023_08 : “人体用に使用が制限される抗菌剤を指定する規則”の抗菌剤の受託開始

2023_09 : マシスの代理店を廃止

2023_04 : 2023年度検疫所輸入食品モニタリング検査の受託開始

2022_04 : 2022年度検疫所輸入食品モニタリング検査の受託開始

2021_04 : 2021年度検疫所輸入食品モニタリング検査の受託開始

2020_04 : 2020年度検疫所輸入食品モニタリング検査の受託開始

2019_04 : 平成31年度検疫所輸入食品モニタリング検査の受託開始

2018_05 : 平成30年度検疫所輸入食品モニタリング検査の受託開始

2017_05 : FP シリーズ農薬検査パッケージの受託開始

2017_05 : 平成29年度検疫所輸入食品モニタリング検査の受託開始

2016_07 : 茨城県つくば市につくば営業拠点を開所

2016_04 : 平成28年度検疫所輸入食品モニタリング検査の受託開始

2015_04 : 平成27年度検疫所輸入食品モニタリング検査の受託開始

2014_12 : 東京大学との共同研究の成果が学術雑誌ネイチャーのオンラインで公開されました。

Nature Chemical Biology 11,127-133 (2015) doi:10.1038/nchembio.1710

Article Lysocin E is a new antibiotic that targets menaquinone in the bacterial membrane.



2014_04 : 平成26年度検疫所輸入食品モニタリング検査の受託開始

2014_01 : 衛生検査所登録

2013_08 : ISO/IEC 17025:2005 認定試験所登録

2013_08 : TOF-MS を使用した、ノンターゲット分析の受託開始

2013_04 : 平成25年度検疫所輸入食品モニタリング検査532項目の受託開始

2012_09 : 高精度質量分析装置を使用した、VGシリーズの受託開始

2012_05 : TOF-MS を使用した、超精密質量数測定 of 受託開始

2012_04 : 平成24年度検疫所輸入食品モニタリング検査540項目の受託開始

2011_04 : 平成23年度検疫所輸入食品モニタリング検査534項目の受託開始

2011_02 : 〒036-8104 青森県弘前市大字扇町2丁目2番地7に本社新築移転

2010_04 : 平成22年度検疫所モニタリング検査530項目の受託開始

2009_04 : ペットフード安全法対応パッケージ分析の受託開始

2009_04 : 平成21年度検疫所モニタリング検査522項目の受託開始

2008_10 : 東京大学及び株式会社ゲノム創薬研究所との共同研究開始

2008_05 : 難分解性7項目のパッケージ分析の受託開始

2008_04 : 平成20年度検疫所モニタリング検査512項目の受託開始

2008_03 : 厚生労働省発表有機リン系農薬全57項目を含むパッケージ分析の受託開始

2007_04 : 平成19年度検疫所モニタリング検査502項目と
各農畜水産物別パッケージ分析の受託開始

2006_07 : 平成18年度検疫所モニタリング検査447項目の受託開始

2005_10 : 平成17年度検疫所モニタリング検査206項目の受託開始

2005_07 : 玄米対象農薬100項目、分析項目を大幅改訂

2005_05 : 残留農薬検査の分析期間短縮サービス開始
全農作物対象270農薬GC/MS残留農薬一斉分析の受託開始

2005_01 : 第11回 東北ニュービジネス大賞で大賞受賞

2003_06 : 環境計量証明事業開始

2002_10 : 残留農薬分析技術確立。食品中の残留農薬分析の受託開始

2001_06 : 固相抽出カラムの販売開始



2001_04 : 科学技術振興事業団 地域研究開発促進拠点支援事業

委託研究開発テーマ : 細胞内 cAMP およびcGMP 同時アッセイキットの開発

2000_12 : ハイブリッド機能を含む液体クロマトグラフィー用カラムの販売開始

2000_04 : 科学技術振興事業団 地域研究開発促進拠点支援事業

委託研究開発テーマ : ハイブリッド機能を有する新規高速液体クロマトグラフ用カラムの開発

1999_12 : 新社屋に移転。研究開発企業を志向

1997_12 : 液体クロマトグラフ用カラムの製造販売開始

1995_12 : 法人化に伴い、現名称マシスに社名変更

クロマトグラフィー関連商品の販売と液体クロマトグラフ用カラム再生受託事業を開始

1989_04 : 総学理研 設立

プレスリリース

2014_12 : 東京大学との共同研究の成果が学術雑誌ネイチャーのオンラインで公開されました

元東京大学大学院薬学系研究科 関水久先生との共同研究

Nature Chemical Biology 11,127-133 (2015)

doi:10.1038/nchembio.1710 Article Lysocin E is a new antibiotic that targets menaquinone in the bacterial membrane.

2013_08 : 朝日放送 (ABC) 2013年8月13日、

みんなの家庭の医学でにんにく中のS-アリル-L-システインを

分析した会社としてマシスが紹介されました。

2004/05 : 【記事】東奥日報社 飛躍する世界に挑戦 短時間検査を可能に

(財) 21あおもり産業総合支援センターからマシスの記事が全国に配信されました。

青森テレビ (ATV) 5月14日ニュースワイドでマシスが紹介されました。

2003/10 : 【記事】朝日新聞社 無登録農薬問題を契機に新分野開拓

2002/10 : 【記事】東奥日報社 無登録農薬分析の体制確立

【記事】農林水産省統計情報部 りんご無登録農薬の分析時間を短縮化。



Artucle Lysocin E is a new antibiotic that targets menaquinone in the bacterial membrane.

Oncotarget, 2018, Vol. 9, (No. 38), pp: 25277-25284 Review Clinical implications of pharmacokinetics of sunitinib malate and N-desethyl sunitinib plasma concentrations for treatment outcome in metastatic renal cell carcinoma patients.

Biochemical examination		Ca	135~147 mg/dl
TP	6.7~8.6 g/dl	Na	136~146 mmol/L
ALB	3.8~5.3 g/dl	K	3.0~4.8 mmol/L
T-Bil	0.2~1.2 mg/dl	Cl	96~102 mmol/L
D-Bil	0.0~0.2 mg/dl	Urea	2.5~4.5 mmol/L
AS-T	12~33 IU/L	UA	1.8~2.4 mg/dl
AL-T	5~35 IU/L	Fe	57.5~181 μg/dl
LDH	275~512 U/L	Cr	0.4~0.9 mg/dl
ALP	30~208 U/L	Ue	0.11~0.35 μmol/L
γ-GTP	4~40 U/L	Ucr	0.137~3.05 μmol/L
CHE	185~410 U/L	Uosm	2231~3485 mOsm/kg
BUN	4~29 mg/dl	Uosm	251~2765 mOsm/kg
CRE	0.1~1.2 mg/dl	Uosm	160 mOsm/kg
UA	0.4~7.0 mg/dl		
	9.3~0~5.5 mg/dl		
T-Cr	128~240 μg/dl		
HDL-C	40~100 mg/dl		
	40~75 mg/dl		
	~150 mg/dl		



社屋の概要

竣工日：2011/02/02

業務開始日：2011/02/28

所在地：〒036-8104 青森県弘前市大字扇町二丁目2番地7

敷地面積：6,000m²

延床面積：2,000m²

構造規模：鉄骨造2階建

アクセス

自動車でお越しの方 → 東北自動車道「大鰐弘前I.C.」より5km

飛行機でお越しの方 → 青森空港（連絡バス約55分）→ 弘前バスターミナル→タクシー（約10分）
→ 弘前オフィス・アルカディア

電車でお越しの方 → 東京駅 → 新青森駅 → 弘前駅（所要時間：約4時間）

お問い合わせ

Mail：info@masis.jp

電話：0172-29-1777

